

我が家のアイドル募集

- 締切 1歳の誕生日まで
- 申し込みに必要なもの
 - ①お子さんの写真(郵送・持参:裏面に記名、メール:5MB以内)
※頭からあごまでが写り、顔の周りに余裕があるもの
 - ②お子さんの名前・性別・誕生日、住所、電話番号、保護者氏名
- 申込方法 郵送・メール・広報広聴係(市役所行政棟3階)へ直接持参

〒322-8601 今宮町1688-1
 広報広聴係「我が家のアイドル係」
 メール koho@city.kanuma.lg.jp
 右のQRコードからもメール送信可能



1歳を迎えたお子さんを紹介します。
 ※8月6日～9月9日生掲載



睦町
 小林 なつきちゃん
 (R2.8.6生)



千渡
 相田 結太くん
 (R2.8.13生)



貝島町
 大島 一夏ちゃん
 (R2.8.19生)



玉田町
 大木 岳くん
 (R2.8.22生)



茂呂
 齋藤 理人くん
 (R2.8.23生)



幸町2丁目
 神山 瑞ちゃん
 (R2.8.24生)



緑町3丁目
 古澤 珀くん
 (R2.8.26生)



縦山町
 小林 日陽ちゃん
 (R2.8.29生)



花岡町
 中野 希咲ちゃん
 (R2.9.1生)



貝島町
 大森 友陽くん
 (R2.9.4生)



千渡
 関口 太翼くん
 (R2.9.7生)



村井町
 小野塚 凰歳くん
 (R2.9.9生)

おめでとうございます。

100歳 万歳!

粟野
 望月 イトさん
 (T10.9.9生)

坂田山
 田多井 ミチさん
 (T10.9.27生)

市民のチカラ

～市民団体とその活動を紹介～

VOL.02 中央地区地域支えあい

協議体ボランティア活動チーム



▲ボランティア活動の様子

「中央地区地域支えあい協議体ボランティア活動チーム」は、地域の高齢者やその家族の支援活動を行っています。

設立：令和元年11月
代表：吉井 和夫さん

中央地区において、地域総ぐるみの協力体制のもと、高齢者の生活支援を行っています。



▲中央地区自治会協議会長でもある代表者・吉井さん

平成30年度に地域で実施した「日常生活困りごとアンケート」では、多くの高齢者が日常生活において困りごとを抱えていることがわかりました。吉井さんたちは、地域ぐるみの支援体制づくりの必要性を痛感し、自治会協議会の協力の下、支えあい協議体を設立。ボランティアチームによる活動を開始しました。

チームは、利用会員（支援を受ける）・協力会員（支援活動の協力）・賛助会員（活動の支援）から成り、支援内容は、除草、庭木の手入れから宅内の清掃、買い物代行まで多岐に渡ります。昨年度は100件以上の利用がありました。

高齢者を地域全体で支える「地域包括ケアシステム」の確立が提唱される中、「おせっかい」にならない利用者の思いに寄り添った支援を目指し、今後とも、地域みんなで支え合う「共助」の形を模索していきます。

ぶんげい

市民俳壇

父ゆきし日と同じ雨吾亦紅

軽トラに大きな鈴と茸籠

一輪車一日動かず鰯雲

そよ風は万葉人か萩の花

着所寝そこはかとなく秋の風

残菊やひとり踊りの影空し

溪流の小滝を跳る山女魚かな

ぎっしりと立てる竹串おでん鍋

田畑の野菜山盛り十三夜

市民歌壇

「金メダルみたいね」と娘は子を抱いて指差す果てに十五夜の月

山裾を真っ赤に染める彼岸花せせらぎの音風情を醸す

リモートで大学生の孫達と会話が弾む四十五分

御成橋町一丁目 秋澤 和子

布川 武男選

上野町 榎木 和子

引田 斎藤 良明

榎木町 上野佐喜子

下材木町 中島 克敏

戸張町 柿沼しげ子

石橋町 宇賀神タカ子

寺町 石田 忠

万町 海原ゆう子

中栗野 大塚 初江

小林 夏江選

上殿町 山野 幸子

久野 広田 文子

名前（ふりがな）・住所を明記し、はがき・メールで「応募ください」。締切は毎月20日（到着分）です。
〒322-8601 今宮町1-68-8-1
メール koho@city.kanuma.lg.jp
広報広聴係（応募部門を明記）

かめま民話めぐり

その一「生子神社の泣き相撲」(北押原)



「どうか、この子を生き返らせてください。願いを叶えてください。毎年、四十二種のお供えものをしてお祀りいたします」
 子どもの七き骸の前で、一心に祈り続けた父親の下に、一筋の光が射しその子を包むと、なんと大声をあげて息を吹き返したではないか!

今から四百五十年ほど前のこと、**粉山明神**の氏子にな、与五右衛門という男がいてな。親子二人で暮らしていたが、ある年の暮れ、子どもが天然痘にかかり看病の甲斐もなく息を引き取ってしまったんだと。信心深い与五右衛門は我が子の亡き骸を抱き、明神の境内に我が子を寝かせると、湧き水で身を清め一心に明神に祈ったんだと。三日三晩祈り続けていたらな一筋の光がさしたかと思つと、子どもは大声をあげて息を吹き返したと。この話を聞いた村人たちとな**粉山明神**へ四十二種の御供物を正月にあげて、お礼と感謝のお祀りをしたんだと。ちよつとそのとき巡業に来ていた力士たちが聞きつけてな、泣く子は元気に育つと「よいしょ、よいしょ」と子どもを抱き上げて祈ってくれたんだと。
 そのときから、泣き相撲が始まつてな。粉山明神は、生子神社と名を改められたんだとぞ。

〔小杉義雄「鹿沼のむかし話」より再話〕



▲生子神社の泣き相撲
 国の選択無形民俗文化財。毎年9月に、生子神社(縦山町1167)で行われます。

・鹿沼民話の会
 ・広報広聴係
 ☎(63)2128

★市民の皆さんに、鹿沼の民話に親しんでもらおうと、今月号から「かめま民話めぐり」をスタートします(不定期掲載、全6回予定)。

【団体紹介】「鹿沼民話の会」

現地を訪ね、鹿沼の民話を掘り起こし、伝承を語り継ぐグループ。「やさしい心を／温もりの言葉で伝えたい」をモットーに、磯山神社や、市花木センター、市内ほっとホーム他で活動しています。結成20周年。月1回定例会を実施。



外孫にスマホ持ちちなと言われても卒寿の吾は操作が出来ぬ
 富岡 佐藤富一郎

遊歩道を脇より覆う穂ススキは幼き子等のトンネルとなる
 日吉町 小川 豊治

會孫に手を引かれつつ蟻の列踏まぬようにと跨いで通る
 御成橋町二丁目 浅野 賀子

コロナ禍の自粛生活寂しさに始めた唄が今は生き甲斐
 上野町 竹澤 光子

稲刈りの済みて切り株整然と並び深まる豊穡の秋
 万町 中又 令子

孫二人秋の林へ落ち葉狩り風よ吹けよと両手広げて
 板荷 小池まこと

市民川柳 白石 洋 選

菽咲いてたった一度の片想い

石橋町 滝野 里花

芋串の柚子味噌香る圍炉裏端

西茂呂 阿部 金司

ワクチンが効いたかコロナ減る数字

下奈良部町 小野口 博

自粛明け群れて宙舞う赤トンボ

上殿町 小暮 靖子

きつと来るコロナ終息和の世界

油田町 酒井 國男

自粛解け行楽さそう旅だより

加園 池田 大

気持ち良く働けますね新庁舎

睦町 高村 光夫

食べ込んでいます冬眠近いので

板荷 島田 ふみ